

教科		地歴		科目		世界史B		単位数		4単位	
学年		2年		科		普通科		専攻・コース		中高一貫	
教科書		詳説世界史（山川出版社）				副教材		アカデミア世界史（浜島書店） 詳説世界史10分間テスト（山川出版社）			
学習到達目標		世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本国美としての自覚と資質を養う。									
評価の観点		<p>a 関心・意欲・態度・・・世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。</p> <p>b 思考・判断・表現・・・世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c 資料活用の技能・・・世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d 知識・理解・・・世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>									
期	月	学習内容・項目				学習のポイントと到達目標				備考	
前 期	前期 第1 回 定期 試験	序章 先史の世界 第1章 オリエン特と地中海世界 1. 古代オリエン特世界 2. ギリシア世界				<ul style="list-style-type: none"> ・人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に、人類と言語の文化を理解する。 ・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエン特文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。 					
	前期 第2 回 定期 試験	3.ローマ世界 第2章 アジア・アメリカの古代文明 1.インドの古典文明 2.東南アジアの諸文明 3.中国の古典文明				<ul style="list-style-type: none"> ・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。 ・南アジアの地理的特質を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解する。 ・東南アジアの地理的特質を把握し、国家形成の過程を理解する。 ・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 					
	前期 末 試験	(続き) 2.中国の古典文明 4.南北アメリカ文明 第3章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の形成 1.草原の遊牧民とオアシスの定住民 2.北方民族の活動と中国の分裂 3.東アジア文化圏の形成				<ul style="list-style-type: none"> ・先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。 ・北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。 					

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後 期	後 期 第 1 回 定 期 試 験	第4章 イスラーム世界の形成と発展 1.イスラーム世界の形成 2.イスラーム世界の発展 3.イスラーム化の進展 4.イスラーム文明の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・トルコ系民族が内陸アジアから進出し、ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。 ・神秘主義（スーフィズム）の影響、インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大を理解する。 ・イスラーム文明の特質と影響、学問と文化活動の内容、イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。 	
		第5章 ヨーロッパの形成と発展 1.西ヨーロッパ世界の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 	
		（続き） 1.西ヨーロッパ世界の成立 2.東ヨーロッパ世界の成立 3.西ヨーロッパ中世世界の変容 4.西ヨーロッパの中世文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 ・教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。 	
学 年 末 試 験		第6章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の展開 1.トルコ化とイスラーム化の進展 2.東アジア諸地域の自立化 3.モンゴルの大帝国 第7章 アジア諸地域の繁栄 1.東アジア世界の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交代、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。 ・モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。 ・中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 	